

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 7 年 6 月 27 日(2025.6.27)

【公開番号】特開 2025-63144(P2025-63144A)

【公開日】令和 7 年 4 月 15 日(2025.4.15)

【年通号数】公開公報(特許)2025-068

【出願番号】特願 2025-3755(P2025-3755)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00(2006.01)

G 0 2 B 1/14(2015.01)

H 1 0 K 59/10(2023.01)

H 1 0 K 50/85(2023.01)

H 1 0 K 85/10(2023.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

B 3 2 B 7/022(2019.01)

10

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 0 2

G 0 2 B 1/14

H 1 0 K 59/10

H 1 0 K 50/85

H 1 0 K 85/10

G 0 9 F 9/00 3 1 3

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 7/022

20

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 19 日(2025.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像表示装置に用いられ、かつ光透過性を有する単層構造の樹脂層および機能層を備える積層構造の光学フィルムであって、  
前記樹脂層が、前記機能層に接する第 1 面および前記第 1 面とは反対側の第 2 面を有し、前記機能層が、ハードコート層であり、

40

前記樹脂層の膜厚方向に前記樹脂層を 3 等分し、前記樹脂層の第 1 面から前記第 1 面とは反対側の第 2 面に向けて順に第 1 領域、第 2 領域、および第 3 領域とし、前記膜厚方向の前記樹脂層の断面において前記第 1 領域、前記第 2 領域および前記第 3 領域にそれぞれ一定荷重でパーコピッチ圧子を押し込む押し込み試験を行ったときの前記第 1 領域における変位量を  $d_1$ 、前記第 2 領域における変位量を  $d_2$ 、および前記第 3 領域における変位量を  $d_3$  としたとき、 $d_1 < d_2 < d_3$  の関係を満たす、光学フィルム。

【請求項 2】

前記  $d_3$  に対する前記  $d_1$  の比が、0.85 以下である、請求項 1 に記載の光学フィルム。

【請求項 3】

前記  $d_1 \sim d_3$  が、それぞれ 200 nm 以上 1000 nm 以下である、請求項 1 または

50

2に記載の光学フィルム。

【請求項 4】

膜厚が、 $20\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $150\text{ }\mu\text{m}$ 以下である、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の光学フィルム。

【請求項 5】

前記樹脂層の前記第 1 面および前記第 2 面のいずれか一方の面側に設けられた樹脂基材をさらに備える、請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の光学フィルム。

【請求項 6】

前記光学フィルムにおいて、前記光学フィルムの対向する辺部の間隔が $10\text{ mm}$ となるように $180^\circ$ 折り畳む試験を $10$ 万回繰り返し行った場合に割れまたは破断が生じない、請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の光学フィルム。 10

【請求項 7】

表示素子と、

前記表示素子よりも観察者側に配置された請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載の光学フィルムと、

を備える、画像表示装置。

【請求項 8】

前記表示素子が、有機発光ダイオード素子である、請求項 7 に記載の画像表示装置。

20

30

40

50